

A-97 ニワトリ肝臓ホモジネート中のビタミン B₂
3 型の動態について (第 1 報)

新潟大教育 ○相田 晴子
割野 敦子
高橋 卓一
谷村 信竹

1. 従来奥田氏その他により諸臓器中におけるビタミン B₂ の代謝に関する報告がみられ、特に ¹⁴C, ³²P 等を用い摘出灌流肝において FR→FMN→FAD の生合成が行なわれることが確認されている。私共は屠殺直後のニワトリ肝臓ホモジネートを用い B₂ 3 型を定量し、さらに FR を添加しその動態を検索した。

2. ニワトリ摘出肝をタイロード液中でホモジネートし、一定量の FR を添加した。(フォスファターゼの影響を考慮し FR 無添加のものについても試みた。) これを 37°C 恒温槽中に 2 時間温置し各分画中の B₂ 3 型を八木式-ルミフラビン蛍光法と PPC 法の併用により測定した。対照としては摘出肝を 80°C 5 分間加熱したものをホモジネートし、前者と同様に処理した。

3. 実験の結果、FR の添加により対照および FR 無添加試料に比し FAD がやや減少し、FMN の明らかな増量がみられたので報告する。